

氏名	瀬 戸 甲 藏		
学 位 の 種 類	医 学 博 士		
学位授与番号	博 乙 第 2242 号		
学位授与の日付	平成 3 年 3 月 28 日		
学位授与の要件	博士の学位論文提出者（学位規則第 5 条第 2 項該当）		
学 位 論 文 題 目	賦活凝固時間におよぼす急性呼吸性 pH 変化の影響に関する実験的研究		
論 文 審 査 委 員	教授 寺本 滋	教授 中山 沃	教授 折田薫三

### 学 位 論 文 内 容 の 要 旨

血液のヘパリン化前後における、賦活凝固時間（ACT）におよぼす、急性呼吸性アシドーシス、およびアルカローシスの影響を、雑種成犬を用いて調べた。

アシドーシスの進行にともなう、ヘパリン化前の ACT は、正常 pH 時の ACT に比べ有意に短縮し、アシドーシスにおけるヘパリン化前の ACT と、pH 間の相関係数は、0.55 ( $p < 0.01$ ) であった。アルカローシスにおいては、ヘパリン化前の ACT に有意な変化を認めなかったが、ヘパリン化後の ACT は、アシドーシスおよびアルカローシスの進行にともなう、正常 pH 時の ACT に比べ、有意な延長を示した。ヘパリン化後の ACT と、pH 間の相関係数は、アシドーシスにおいて -0.74 ( $p < 0.001$ ) であり、アルカローシスにおいて 0.55 ( $p < 0.01$ ) であった。急性呼吸性 pH 変化にともなう、ACT の変動に関する機序は不明であるが、本研究は、pH 異常が存在する場合、ヘパリン化後の ACT が実際の血中ヘパリン濃度を、正確に反映していない可能性を示唆した。

### 論 文 審 査 の 結 果 の 要 旨

本研究は血液凝固時間に関する実験的研究であるが、血液のヘパリン化前後における、賦活凝固時間を測定し、急性呼吸性アシドーシスおよびアルカローシスの影響を検討したものであって、pH 異常が存在する場合の血液賦活凝固時間について重大な知見を得たものであって、価値ある業績であると認める。

よって、本研究者は医学博士の学位を得る資格があると認める。